

学級活動（１）学習指導案

廿日市市立阿品台東小学校

指導者 小田 博美

- 1 日 時 平成 27 年 12 月 14 日（月）
- 2 学 年 第 2 学年 1 組 19 名 2 組 18 名
- 3 議 題 「4 年生ありがとうの会ですあそびをきめよう」
- 4 児童の実態と議題について

（１）児童の実態

第 2 学年の児童は、入学当初から地域の方や異学年の児童と関わる機会が多く、学級や学年の児童以外の人とも、楽しく交流することができる。第 2 学年になってからは、異学年間の交流活動をするピア・サポート活動で第 4 学年の児童と一緒に活動したり、毎月地域ボランティアの方に学習支援をしてもらったりし、いつも活動を楽しみにしている。日ごろ世話になっている人が誰かを問う道徳アンケートにおいては、8 割の児童が地域ボランティアの方に世話になっていると答えたが、第 4 学年に世話になっているという回答は 1 名のみであった。しかし、日ごろ世話になっている身近な人への感謝の内容を道徳の時間に学習した際、多くの児童が第 4 学年にいろいろな場面で世話になってきたことに気づき、35 名中 10 名の児童が「第 4 学年に、ありがとうを伝えたい。」という思いをもち、学級会の議題カードにも、その思いが表れていた。

学級活動については、1 学期に話し合い活動のオリエンテーションを行い、学級会の進め方や議題の決め方などについて、共通理解を図った。しかし、学級や学校の生活をより楽しいものにしたいという思いはもっているものの、自分から進んで生活を見つめ、気づき、それを提案して、学級全体に広めていこうとする児童はまだ少なく、教室に設置した議題箱も十分に活用されているとはいえない。これまでの学級会での話し合い活動は、主に学校行事に関わる内容について行っており、児童は話し合いの経験を積んできている。積極的に自分の意見を述べようとする態度も見られるようになってきているが、意見を述べにくい児童が半数ほどいる。

（２）議題設定の理由

本議題は、道徳の時間において身近でお世話になっている人を想起した際、自分たちのことを考えたり見守ったりしてくれている第 4 学年の存在に気づき、「お礼を伝えるために、自分たちがしてもらったことのお返しをしたい。」という児童の思いを受けたものである。

第 2 学年の児童は 11 月下旬に第 4 学年に、おいもパーティーへ招待してもらい、楽しい時間を過ごしている。おいもパーティーのことを振り返る日記や議題カードの中には、「4 年生に喜んでもらえるお礼の会がしたい。」という思いがあり、「4 年生に感謝の気持ちを伝わり喜んでもらえるもの」という視点で児童が提案し、議題を決定した。

よりよい学級や学校の生活を目指して、児童が自らの思いで「4 年生ありがとうの会」を開くことを決め、実践するために調べたり考えたり、話し合ったりする活動を展開していくことで、児童の「課題対応能力」を高めることができる。

5 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級や学校の一員として、よりよい生活や人間関係づくりに関心を持ち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	4年生に感謝の気持ちが伝わり、喜んでもらえるようによりよい方法を考え、進んで話し合ったり、友だちと助け合ったりして実践している。	みんなで目標に向けて取り組んでいくことの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方について理解している。

6 事前の活動（例） ※③④⑦は、児童の計画による。

日にち	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と 評価方法
① 12月 1日（火） 朝の会	・議題カードを書く。	・一人一枚議題カードを配付する。 ・みんなで取り組んでみたいことなど、自分の思いを素直に書いてよいことを伝える。	【関心・意欲・態度】 ・みんなで取り組みたいことを考え、提案しようとしている。（議題カード）
② 12月 2日（水） 朝の会	・議題を決定する。	・議題箱の中から、「みんなでしてみたいこと」に適しているかを考えさせながら、議題を決定できるようにする。	【関心・意欲・態度】 ・みんなの思いを受け、議題として適しているものを選ぶようとしている。（観察）
③ 12月 2日（水） ～4日（金）	・4年生「4年生ありがとうの会」でどんなことをしたいかを考えて、学級会コーナーに提案する。	・いろいろな意見を短冊に書けるようにする。 ・全員がしたいことを提案できるようにする。	【関心・意欲・態度】 ・感謝の気持ちを伝えるための方法を進んで考えようとしている。（短冊，観察）
④ 12月 2日（水）	・計画委員が今後の活動計画と話し合いの柱について話し合う。	・今後の活動で必要となる活動や、学級会の流れなどを考えながら、計画が立てられるよう助言する。 ・役割分担の大まかな内容も考えるよう助言する。	【思考・判断・実践】 ・今後、どのような活動が必要になるかを考えている。（観察） 【関心・意欲・態度】 ・学級会でよりよい話し合いができるように考えながら、話し合っている。（観察）

⑤ 12月 3日(木) 朝の会	・計画委員が、今後の活動の計画を提案し、学級全体で確認する。 ・これからの活動で自分たちが身に付けたい力について、出し合い話し合う。	・今後の活動で高めたいキャリア発達に関わる諸能力について、児童と共に考え、共通理解を図る。	【思考・判断・実践】 ・活動の見通しをもつことができる。(観察)
⑥ 12月 7日(月) 朝の会	・「4年生ありがとうの会」でしたいことについて、事前に提案されたことを基に考える。 ・よりたくさんの情報を集めるための方法について、話し合う。	・教師から条件を提示して、よりよい内容を考えるには自分たちの知識だけでなく、調べる必要があると気付かせる。 ・身近な人に聞いたり、本で調べたりするなど、子供たちが調べることへの意欲をもてるようにする。	【思考・判断・実践】 ・「4年生ありがとうの会」の目的を理解し、よりよい会にするための方法を調べたり、考えたりしようとしている。
⑦ 12月 7日(月) ～10日(木)	・条件に合わせて「4年生ありがとうの会」に適した具体的な内容について調べたり考えたりしたことを、学級会コーナーに書き込む。	・先生や上級生に聞いたり、図書室の本を調べたりできるよう、事前に体制を整えておく。 ・家庭でも協力してもらえよう、事前をお願いしておく。 ・各自が調べたり考えたりしたことを自由に書き込める場所を用意し、交流し合えるようにする。	(ワークシート①, インタビューカード, 調べの達人カード, ふりかえりカード①②)
⑧ 12月 11日(金) 朝の会	・計画委員が学級会に向けて、議題の確認と事前に考えておいてほしいことを学級全体に提案し、児童一人一人が自分の考えを整理する。	・自分の考えを整理したり、考えをもったりするために、マトリックス法を使う。	【思考・判断・実践】 ・「4年生ありがとうの会」の条件や目的や、よりよい会になるように考えながら、自分の考えをもっている。 (ワークシート②, ふりかえりカード③)

7 本時の展開

(1) 本時のねらい

- 4年生に感謝の気持ちが伝わり、喜んでもらえる会にするために、自分の意見を述べたり、友だちの意見を聞いたりして、よりよい方法を考えられるように話し合うことができる。

(2) 児童の活動計画

だい七回 学きゅう会 活動計画 12月14日（月）3時間目		
ぎだい	「4年生ありがとうの会」のあそびをきめよう	
やくわり	し会（ ） ふくし会（ ） 黒ばん書記（ ）（ ） ノート書記（ ） ていあんしゃ（ ）（ ）	
ていあん 理ゆう	おいもパーティーやえん足など、いろいろなことでお世話になっている4年生に、おれいの気持ちをつたえて、よろこんでもらいたいと思ったから。	
めあて	い見をしっかり言おう。	
きまっ ている こと	・場しよはえい語ルーム	

8 話し合いのふりかえり	・自分や友だちのよかったところ，がんばったことを言えるようにする。	・ふりかえりカード④
9 先生の話		
10 おわりのことば	・みんなが「4年生ありがとうの会」がせいこうするようにがんばろう」という気持ちになれるような話をする。	

8 本時について（例） ※実際の活動は，計画委員の計画による。

話し合いの順序	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
1 始めの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由やめあての確認 5 決まっていることの確認 話し合い ① どんな遊びをするか。 ② 係分担をどうするか。 6 決まったことの発表 7 話し合いの振り返り	・自分のめあてが言えるよう，事前指導をする。 ・学級会の目的を全員が理解して，話し合いに臨めるようにする。 ・理由を付けて自分の意見を述べられるよう，マトリックスを使って事前に考えを整理させておく。 ・事前に考えを整理させることで，提案理由や決まっていることを意識して，4年生に喜んでもらえる遊びを提案できるようにする。 ・全員が発言できるように，発言してない児童へ他の児童が発言を促す声かけができるよう，事前に指導しておく。また，教師が個別に助言する。 ・自分ががんばったことや学級全体でよかったこと，課題となることなどについて，振り返りができるよう，助言する。	【思考・判断・実践】 ・提案理由を理解し，理由を付けて，自分の意見を発表することができる。 （観察，ワークシート②，ふりかえりカード④） ・友だちの考えをよく聞き，新たな考えや気づきを述べたりしながら，折り合いをつけて意見をまとめようとしている。 （観察，ワークシート②，ふりかえりカード④） 【知識・理解】 ・話し合いの進め方や約束を理解している。（観察）

8 先生の話	・提案理由に対して、意欲的に自分の考えを述べる事ができたことや、友だちの考えをよく聞いて学級の考えをまとめることができたことなどを評価する。	
9 終わりの言葉	・計画委員へのねぎらいの言葉をかけるとともに、今後の活動への見通しや意欲をもたせるようにする。	

9 事後の活動（例） ※①②は、児童の計画による。

日にち	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
① 12月 14日(月) ～ 18日(金) 朝の会	・係の活動計画を立て、準備をする。	・進んで活動したり、協力や工夫をしたりして活動している児童を称賛する。	【関心・意欲・態度】 ・準備に進んで取り組もうとしている。 (観察, ワークシート③, ふりかえりカード⑤)
② 12月 21日(月) 2時間目 特別活動	・「4年生ありがとうの会」をする。	・自分の役割を果たし、「4年生ありがとうの会」の目的に合わせて活動できている児童を称賛する。	【関心・意欲・態度】 ・言葉で感謝の気持ちを伝えたり、行動や態度で表そうとしたりしながら、「4年生ありがとうの会」に取り組んでいる。 (観察) 【思考・判断・実践】 ・「4年生ありがとうの会」の目的や自分の役割を考えて、活動している。 (観察, ふりかえりカード⑥)
③ 12月 21日(月) 帰りの会	・自己評価や全体評価を行い、成果と課題を出し合う。	・自分の活動を振り返り、今後に生かしていけるようにするとともに、友だちや学級のよいところについても認められるようにする。	【関心・意欲・態度】 ・自分や友だちのよさに気づき、今後に生かそうとしている。(ふりかえりカード⑥)

